

今年も回った町切水車 ～河川協力団体との連携開始～

武雄河川事務所 最近の話題

さる5月10日(日)に松浦川水系・巖木川で活動されている河川協力団体「**自然と暮らしを考える研究会**」を中心とした地元保存会による「**町切水車設置式**」に今年も参加しました。

この水車は江戸時代から続く伝統文化で、文化の継承も目的として行われています。

今年は地元の工業高校、水力発電を研究している福岡の大学生も応援に駆けつけて、総勢約40名にて設置を行いました。

水車は佐賀県産の杉材を使用した直径約4m、重さは約150kg、大人20名程度で持ち上げるほどの大きなものです。

この設置式を皮切りに、巖木川を中心とした「自然と暮らしを考える研究会」の河川安全教室、環境学習などの活動が始まります。武雄河川事務所としても、今後ともこれらの地域の活動を応援していきます。

－開会風景－



松浦川出張所長の挨拶
5/17の水防演習のPRも！



水車は重さが約150kg

－設置中－



職員も設置のお手伝い



－設置完了－



水が来ると、水車が無事に回り、
万歳三唱にて設置式終了

